

令和7・8（2025-2026）年度複合構造委員会 第9回幹事会 議事録

日 時：令和8（2026）年9月2日（水）14:00～17:00

場 所：鹿島建設札幌支店会議室，Web併用（Zoom）

出席者：大山委員長，北根副委員長，平幹事長，川端幹事，塩畑幹事，高橋幹事，内藤幹事，中田幹事，中原幹事，中村幹事，橋本幹事，藤林幹事，藤原幹事，皆田幹事，山上幹事，山本幹事，横田幹事

（敬称略）（下線：オンライン参加，取消線：欠席）

配布資料：

- 幹9-0 令和7・8年度複合構造委員会第8回幹事会議事次第
- 幹9-1 令和7・8年度複合構造委員会第8回幹事会議事録（案）
- 幹9-2 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹9-3 2026（R8）年度委員会スケジュール
- 幹9-4 メール審議・報告事項
- 幹9-5 令和8年度委員会予算
- 幹9-6 令和8年度委員会予算執行状況
- 幹9-7-1 令和8年度土木学会全国大会・共通セッション
- 幹9-7-2 令和8年度土木学会全国大会・研究討論会
- 幹9-8 企画について
- 幹9-9 複合構造委員会HPについて
- 幹9-10 シンポジウム小委員会（H001）
- 幹9-11 土木学会論文集特集号（複合構造）（H005）
- 幹9-12 複合構造の継続教育（H006）
- ~~幹9-13 300年暴露プロジェクト小委員会報告（H007）~~
- 幹9-14 出版関連報告
- ~~幹9-15 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会~~
- ~~幹9-16 H153 複合構造標準示方書適用検討小委員会~~
- ~~幹9-17 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会~~
- 幹9-18 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- ~~幹9-19 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会~~
- 幹9-20 H224 AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会
- 幹9-21 委員長選挙の電子化について
- 幹9-22 第7回構造系3委員会意見交換会議事録
- ~~幹9-23 第10回幹事会について~~
- ~~幹9-24 複合構造委員会小委員会一覧~~

## 議事内容：

### 1. 委員長挨拶

大山委員長より、開会の挨拶があった。

### 2. 複合構造委員会第8回幹事会議事録（幹9-1）

中原幹事より、第8回幹事会議事録の説明があった。事前に議事録の確認ができていなかったため（案）としている。体裁を平幹事長が修正のうえ、横田幹事に送付する。

### 3. 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担（幹9-2）

平幹事長より、令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担について説明があった。幹事が担当した査読回数を表記した。

### 4. 2026（R8）年度委員会スケジュール（幹9-3）

平幹事長より、令和8年度複合構造委員会スケジュールについて説明があった。

- ・前回の説明から変更なし。
- ・第10回幹事会の開催時間は変則的であり、10時30分から14時までとなる。昼食はお弁当を用意する。
- ・第11回の幹事会の場所は港湾空港技術研究所で、13時から所内見学を予定している。
- ・第11回若手技術者のための複合構造セミナーの日時が2027年2月2日に決定した。

### 5. メール審議・報告事項の確認（幹9-4）

平幹事長より、メール審議事項と報告事項について説明があった。

- ・土木学会から重点研究課題（研究助成金）の募集案内があった。

#### (1) 親委員会あて

- ・前回幹事会で提示した委員会予算案はメール審議にて承認済みである。
- ・研究討論会（2026年8月31日実施）の案内を周知した。
- ・複合構造委員会の規則が改正され、任期は5月末までとなったことを周知した。
- ・「藤野先生を偲ぶ会」の案内を周知した。案内の中に藤野先生への追悼文の執筆意向の確認があったが、これは個人への依頼であり、委員会としての対応はないことを確認した。

#### (2) 幹事会あて

- ・2025年度拡充支援金の配分について周知した。
- ・重点研究課題（研究助成金）の募集が開始されたことを周知した。

### 6. 令和8年度予算（幹9-5）

平幹事長より、令和8年度の予算が1,833,000円で決定され、小委員会ごとの予算の説明があった。

- ・予算の執行期限が令和9年3月中旬であることから、各小委員会において会議室代、実験費等に有効活用するよう、連絡幹事を通じて各小委員会へ周知する。

### 7. 令和8年度委員会予算執行状況（幹9-6）

平幹事長より、予算執行状況について説明があった。

- ・20周年記念誌の未送付者への配送が完了し、その郵送費が計上されている。
- ・予算の活用について考える必要があり、見学会等を開催できればよいと考えている。また、次回の幹事

会までに各小委員会での執行見込みを立てていただきたい。

#### 8. 令和8年度全国大会共通セッション，研究討論会について（幹9-7-1，幹9-7-2）

##### (1) 共通セッション

皆田幹事より，令和8年度全国大会共通セッションの開催案内があった。

##### (2) 研究討論会

平幹事長より，研究討論会の実施報告があった。

- ・Zoomチャットに添付した資料を閲覧できない参加者がいた。
- ・話題提供の個別収録は音声の明瞭さに利点があった一方，討議映像との編集作業に手間を要した。
- ・資料共有方法および録画・編集方法について課題が確認されたため，今回の準備記録を次回以降の運営の参考とする。
- ・参加人数は未確認である。アンケートへの回答は現時点で10件であった。

#### 9. 企画について（幹9-8）

藤林幹事より，見学会および次期重点研究課題のテーマについて説明があった。

- ・見学会は毎年でなくてもよいが，特に今年度は予算があるので開催するのが望ましい。
- ・重点研究課題の研究助成への応募について，現時点で以下の2案が示された。
  - 1) 新材料・新工法を用いた複合構造の実用化に向けた技術課題の整理と次期研究テーマの探索
  - 2) 鋼構造委員会，構造工学委員会，複合構造委員会の3委員会合同での重点研究課題応募
- ・2)は，構造系3委員会の意見交換会において提案されたものであり，鋼構造委員会を中心に，3委員会合同で重点研究課題への申請を検討することとなった。仮想の新設プロジェクトを設定し，その検討を通じて技術継承を図るものである。
- ・3委員会合同案とは別に，複合構造委員会として「新材料・新工法」に関する案の具体化を進めることを確認した。
- ・次回幹事会までに，企画WGのメンバーにて内容の具体化を進める。
- ・「新材料・新工法」のテーマとして，木材工学委員会との連携が考えられることから，平幹事長が高橋幹事に相談し，木材工学委員会における重点研究課題への応募予定等を確認する。

#### 10. 複合構造委員会HPについて（幹9-9）

横田幹事より，複合構造委員会HPの更新状況について以下の報告があった。

- ・委員会規則を最新版へ更新した。
- ・第3回委員会議事録および第7回幹事会議事録を掲載した。
- ・「複合構造標準示方書2024」の正誤表および回答書を掲載した。
- ・H153小委員会情報を追加した。
- ・第10回複合構造セミナー案内を掲載した。
- ・小委員会一覧のうち，第一種小委員会一覧にH153小委員会を追記する。
- ・H109，H220小委員会は終了しているので，小委員会名のところに「終了」を追記する。
- ・トップページに複合構造標準示方書の正誤表を掲載した旨を追記する。

#### 11. シンポジウム小委員会（H001）（幹9-10）

山本幹事より，シンポジウムの活動状況について報告があった。

- ・FRPシンポジウムの原稿投稿を締め切った。投稿申込32件，原稿提出25件，提出延期希望3件，辞退4件であり，最終的に28件程度を想定している。
- ・今後，原稿査読・修正依頼を実施する。
- ・10月中旬までに最終原稿を取りまとめる。また，投稿件数の変更を踏まえてプログラムを再調整するとともに，未定の座長について引き続き選定を進める。

## 12. 土木学会論文集特集号（複合構造）（H005）（幹9-11）

大山委員長より，土木学会論文集特集号について報告があった。

- ・6月末に82巻14号の校正は完了している。
- ・収支は27,080円の赤字であり，当該額は今年度の拡充支援金から処理済みである。
- ・英文投稿を受け付けない点が，従来からの変更点である。

## 13. 複合構造の継続教育（H006）（幹9-12）

皆田幹事より，複合構造の継続教育の活動状況について報告があった。

- ・第10回若手技術者のための複合構造セミナーの準備を進めている。演習問題で使用するZoom投票の動作確認を10月上旬に実施する予定である。投票機能の設定は藤林幹事が担当する。
- ・第11回若手技術者のための複合構造セミナーは2027年2月2日に開催することが決定した。今後は，決定した講師3名と打合せを行い，講習内容の確認を進める。
- ・e-ラーニングWGでは，今後，WG委員に担当分の動画教材の作成を依頼する予定である。
- ・平幹事長より，構造系3委員会でFEMに関する講習会について意見交換がなされ，「基礎的な内容は分野共通で扱い，鋼構造や複合構造に固有の内容を各分野で補足する」など，3委員会合同の取り組みとして検討する価値があるとの意見があった旨が報告された。これを受けて，構造工学委員会が開催しているFEM講習会（1日目基礎編，2日目応用編）に，複合構造委員会から講師を派遣するなどの連携を図ることで，スムーズに合同開催できる可能性があるとの意見があった。

## 14. 出版関連報告（幹9-14）

中田幹事より，出版関連報告があった。

- ・H222小委員会は7月に終了するため，成果報告書を作成する見込みである。
- ・出版企画は9月30日までに提出し，10～11月にヒアリングがある。出版企画申請は次回までに整理をお願いしたい。

## 15. 小委員会報告・審議事項

### (1) H111：カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（幹9-15）

西崎小委員会委員長より，活動期間の延長について説明があった。

- ・第1期の検討成果を踏まえ，FRP材料等のCO<sub>2</sub>排出原単位，製造方法による差異，維持管理・廃棄・リサイクルを含むライフサイクル評価等を引き続き検討する。
- ・第2期終了後に成果報告書を取りまとめ，講習会を開催する予定である。
- ・審議の結果，活動期間の延長が承認された。
- ・活動期間は2028年10月までとして申請する。成果報告書の取りまとめおよび講習会の開催が同年10月以降となる可能性がある。

### (2) H153：複合構造標準示方書適用検討小委員会（幹9-16）

- ・特になし.

(3) H221：樹脂・FRP 材料による複合技術研究小委員会（幹 9-17）

- ・特になし.

(4) H222：複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会（幹 9-18）

内藤幹事より，活動状況について報告があった．

- ・三体の載荷実験および実験結果の整理を実施した．
- ・今後，FEM解析を実施するため，準備を開始した．
- ・報告書の目次案は作成済である．
- ・年度内の報告会開催を予定している．解析の進捗や成果に応じて，スケジュールは調整する．

(5) H223：弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会（幹 9-19）

山本幹事より，活動状況について報告があった．

- ・活動期間延長を検討中であり，次回幹事会にて正式説明を行う予定である．

(6) H224：AI を活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会（幹 9-20）

中原幹事より，活動状況について報告があった．

- ・第4回委員会を8月5日（水），6日（木）に鉄道総合技術研究所の宮崎実験センターで開催し，コンクリート構造物の変状状況の写真撮影および弾性波計測を実施した．
- ・宮崎実験線で得られた損傷写真のAIデータ解析の試行を実施する．

16. その他

(1) 委員長選挙の電子化について（幹 9-21）

皆田幹事より，委員長選挙の電子化，複合構造委員会委員長候補者選考細則 改正（案）について説明があった．

- ・変更の要点は，電子化投票に対応できるようにするとともに，立候補者または被推薦者が複数となった場合の対応を追記したことである．
- ・改正（案）について，幹事が改めて内容を確認し，来週中を目途に幹事会として確定することとした．
- ・幹事会での確認後，異議がなければ，親委員会において改正（案）のメール審議を行う．
- ・電子投票に使用するツールについて，土木学会のWebformでは，ログイン状態によって投票者が特定される可能性があるため，Microsoft Formsの使用を検討することとした．
- ・Microsoft Formsを用いた場合の匿名性，投票コードの確認方法，重複投票への対応および開票手順等を確認するため，幹事会で模擬投票を実施することとし，幹事に協力を依頼した．

(2) 構造系 3 委員会報告（幹 9-22）

平幹事長より，構造系 3 委員会意見交換会について報告があった．

(9. 企画について（幹 9-8）内で報告）

(3) 第 10 回複合構造委員会幹事会について（幹 9-23）

平幹事長より，開催時間が 10 時 30 分からと通常と異なるので注意するようにとの説明があった．

17. 閉会挨拶

- ・北根副委員長より，閉会の挨拶があった．

(記録：山上)